

忘れない!

安倍首相 IOC 発言

2013年9月8日(日本時間) IOC総会プレゼンテーション

参考資料①

Some may have concerns about Fukushima.
Let me assure you,

the situation is under control.

It has never done and will never do any damage to Tokyo.

同日 IOC総会プレゼンテーション後の質疑応答

参考資料②

IOCのゲルハルト・ハイベルク(Gerhard Heiberg)委員の福島でいろいろなのがメディアで言われているが、東京に影響がないとなぜ言えるのか? 技術的に話してほしいという質問に対する安倍首相の答え

汚染水による影響は
福島第一原発の港湾内の0.3平方キロメートル範囲内の中で
完全にブロック
されています。

2014年3月3日 参議院予算委員会

民主党 那谷屋氏の「この発言が福島県民にどう受け止められたと考えているか?」という質問に対する安倍首相答弁

私がプレゼンテーションにおいてアンダーコントロールというふうに申し上げましたのは、福島第一原発では、貯水タンクからの汚染水漏えいなど個々の事象は発生はしていますが、福島近海での放射性物質の影響は発電所の港湾内の0.3平方キロメートルに完全にブロックされていると。言わば、事態では、個々の事態は起こっているけれども、それは私は承知をしているし、対応しているよという趣旨のことを言ったわけでございまして、つまり、コントロールできていないということだったら全く何もできていないということになります。それは私は事態は掌握をしているし、対応はしているよということを申し上げたつもりであります。

先般も私は福島県に参りました際、例えば相馬市の市長からは、水産物が大変な風評被害を受けている中においてよく言っていたという話もありました。ただ、我々は決して収束したとは言っていないわけですが、ただ、まだ汚染水の様々な報道がある中において、報道でコントロールできていないではないかという方々もおられたんだろうと、こう思うわけでございしますが、要は、英語のプレゼンテーションの中において、大切なことは、あのときは、まさに日本はちゃんと対応できていないのではないかと、事態も全く掌握できていないのではないかとという中において、そういう国にはオリンピックを任せることはできないねという雰囲気があったのは事実であります。それをいかに私は、日本の総理大臣としてその雰囲気を払拭することができるかが私のスピーチのポイントでございましたから、そのところにおいて、私は責任者としてそれはしっかりと事実を掌握をして対応していますよという意味においてコントロールしていますよということを申し上げたところでございます。

3つのポイントで考えてみます。

「アンダーコントロール」の意味

安倍首相の言う「影響がある」とは様々な基準値を超えるものが出てきた場合の事をさします。

影響といえば、さまざまな基準値においてそれを超えるものが出たら、これは影響が出ているということになるわけでございます。

2013年10月22日衆議院予算委員会 安倍首相答弁

しかし、海洋の連続モニタリングによる監視は未だ実現されていません。

(原子力規制委員会 海洋モニタリングに関する検討会の議論より 参考資料③)

つまり、「影響が完全にブロックされている」とは

「**1日に1回の測定値は基準値以下です**」と同義と言えます。

また「コントロール」については「私は事態を把握しているし、対応はしているよということを申し上げたつもり」と言いますが、具体的な「対応」がどんなものなのかははっきりしません。

「**問題発生を事前に食い止められているわけではなく、発生後に何かしらの対応をする。なおその問題発生はリアルタイムにつかんでいるわけではない**」

というのを「アンダーコントロール」と言っているようです。

が。。。これは「アンダーコントロール」じゃなくて「その場しのぎ」なのでは？

問題発生に気付くまでの時間が予測不能という点では「その場しのぎ」ですらありません。

福島県民の受け止め方

2013年9月20日に福島県双葉郡浪江町議会が意見書を議決しています。

「非常事態」となっている福島第一原子力発電所の汚染水問題について国が全面的に責任を持ち政府直轄で解決することを求める意見書

安倍総理の発言は事実と反する重大な問題があると考えます。

(中略)

福島をあまりにも軽視する政府、東電に憤りを禁じ得ないと同時に、安倍首相の無責任な発言に強く抗議するものである。

参考資料④

2013年10月22日に衆議院予算委員会で取り上げられたのですが、安倍首相は無視しています。

参考資料⑤

「雰囲気」を払拭

安倍首相の言葉に大きな違和感を持つ原因の一つに、現実が結びついていない、ということがあのように思います。

「影響」「ブロック」「コントロール」「対応」。。

どれも言葉の持つイメージだけが一人歩きしていて、具体的な現実はややふやなままです。

そして「雰囲気」。。

「雰囲気」を払拭」と言っている本人が一番「雰囲気」で話をしている、あるいは「雰囲気」を作ろうとしている。。そんな気がしてなりません。

※毎週金曜夜、国会前に行く道の途中でこんな感じのポスターを週替わりで展示しています。
今回のポスターは2014年3月28日に展示したポスターを一部改変したものです。
なおバックナンバーはホームページ「茶色の朝を迎えないために」で公開しています。
<http://brownmorning.s3-website-ap-northeast-1.amazonaws.com/index.html>
(「茶色の朝」「官邸前」で検索すると出てきます)

<参考資料>

①首相官邸HP

http://japan.kantei.go.jp/96_abe/statement/201309/07ioc_presentation_e.html

②茶色の朝を迎えないために

私が全文文字起こししています

<http://brownmorning.s3-website-ap-northeast-1.amazonaws.com/html/statements/20130908IOC.html>

③原子力規制委員会 海洋モニタリングに関する検討会

https://www.nsr.go.jp/committee/youshikisyu/kaiyou_monitoring/

茶色の朝を迎えないために 官邸前展示ポスターコーナー

2013年10月4日、11月15日、2014年1月17日、3月21日のポスターでも紹介

④<http://www.town.namie.fukushima.jp/uploaded/attachment/2048.pdf>

⑤茶色の朝を迎えないために 官邸前展示ポスターコーナー

2013年11月8日のポスターで紹介